整備対象施設の現況

別　紙

項目		工場名	練馬		杉並		光が丘		大田第一		目黒		大田第二	破砕ごみ処理施設		備考	
老朽化の状況	焼却能力	焼却対象ごみ 設計最高発熱量 (kJ/kg)	可燃ごみ 10,500		可燃ごみ 8,800		可燃ごみ 11,300		可燃ごみ 12,600		可燃ごみ 11,700		不燃ごみ処理残さ	粗大破砕ごみ		≪参考≫ 世田谷工場 設計最高発熱量 12,100(kJ/kg)	
		処理能力(ﾄﾝ/日) [施設規模]	520 (300×2) 現行ごみ発熱量では蒸気復水設備の能力不足のため減量焼却		600 [300×3] ごみ発熱量が現行ごみ質以上では減量焼却になる		300 [150×2]		600 [200×3]		600 [300×2]			180 [180×1]			
	劣化の程度等 (現時点における所見)		○重金属処理設備の腐食等劣化の進行 ○新旧設備の混在により操作性が悪い		○経年的な熱負荷による焼却炉構造物の歪み ○経年によるボイラ設備蒸気管及び過熱管の減肉 ○洗煙設備等の劣化の進行		○経年的な熱負荷による焼却炉構造物の歪み ○経年によるボイラ設備蒸発管の減肉		○汚水処理設備の腐食等劣化の進行 ○経年によるボイラ設備蒸発管の減肉		○経年によるボイラ設備蒸発管の減肉			○経年によるボイラ設備蒸発管の減肉			
エネルギー回収性能	ボイラ蒸気 温度(℃)、圧力(Mpa)		260 1.96		320 2.55		350 2.45		310 3.23		340 2.92			340 2.92			
	発電出力(kW) [kW/ごみﾄﾝ当たり]		1,500 [60]		6,000 [240]		4,000 [320]		12,000 [480]		11,000 [440]			3,600 [480]			
	熱供給		区施設		区施設		区施設・ 地域冷暖房施設		―		区施設			―			
	単位発電電力量(kW/ごみt) ※平成20年度実績		112		235		220		286		281			249		全工場平均 380(kW/ごみt)	
	発電量(万kWh) ※平成20年度実績		1202		2961		1758		3033		2742			823			
自動化の状況	自動化の程度 自動　：○ 半自動：△ 手動　：×	ごみクレーン	×		×		△		○		○			×			
		灰クレーン	×		×		×		○		○			×			
		車両管制	×		×		○		○		○			×			
		炉立上、立下	×		×		○		○		○			△			
		炉の定常運転	△		△		○		○		○			△			
公害防止性能	排ガス		操業協定	20年度測定結果(平均)	操業協定	20年度測定結果(平均)	操業協定	20年度測定結果(平均)	操業協定	20年度測定結果(平均)	操業協定	20年度測定結果(平均)		操業協定	20年度測定結果(平均)	最新工場(世田谷)	
	ばいじん(g/m³N)		0.08	<0.001	0.03	0.002	0.03	0.001	0.02	<0.001	0.02	<0.001		0.08	<0.001	0.01	<0.001
	いおう酸化物(ppm)		340	15	30	<1	30	<1	20	<1	20	<1		20	<1	10	<1
	窒素酸化物(ppm)		250	33	150	39	150	38	70	43	70	38		70	33	50	29
	塩化水素(ppm)		430	16	25	<2	25	<2	15	<2	15	<2		15	<2	10	<2
	ダイオキシン類(ng-TEQ/m³N)		1	0.0081	1	0.00023	1	0.00061	1	0.00099	1	0.0014		1	0.00035	0.1	0.0003
			洗煙設備が未設置														